

# 富士宮産牛乳の富士宮ブランドを確立するための販売拡大及び宣伝手法について

静岡県立農林環境専門職大学短期大学部（畜産コース）

指導教員：教授 小林信一

参加学生：青山 濤、岩田夏鈴、牛丸 茜、江見知哉、大岩 渡  
興水奈央、佐々木希望、杉山樹輝也、鈴木真依、松本柚夏

## 1. 要約

富士の国乳業は、地元の牛乳を地域の子供たちに学校給食として届けたいとの「想い」から、酪農家自らが出資して作った乳業会社である。学校給食は子供たちの健康を守り、また食農教育としての効果も持つ。使用している生乳は、役員が生産する関東の中でもトップテンに入る高品質のもので、さらに牛乳製造過程でも通常よりも低温で殺菌することで、牛乳本来の旨味を感じられるという特徴を持っている。しかしコロナ休校によって、厳しい状況に置かれていた。将来の酪農など農林業分野の担い手を育成する全国初の県立農林環境専門職大学・短大の畜産コースの学生として、富士の国乳業の「想い」を伝え、地域の農業の発展に少しでも貢献したいと考え、クラウドファンディングを立ち上げた。その結果、多くの方からのご支援をいただき、また、メディアなどにも取り上げられることで、当初の目的を達成できたと考える。

## 2. 研究の目的

富士宮産の生乳を使った飲むヨーグルト、ヨーグルト等のおいしさと生産にかける酪農家や乳業の「想い」を富士宮市・県内外に伝え、販売力を高める方法について調査研究を行う。

## 3. 研究の内容

### 1) スケジュール

10月2日	富士宮市役所にて、打ち合わせ。市役所担当者、富士の国乳業関係者、小林教授
11月27, 28日	現地調査（学生）富士の国乳業工場見学、佐野牧場（社長）、いでぼく（役員）見学、JA富士宮ファーマーズマーケットう宮～な（富士の国乳業製品販売店）見学
12月	クラウドファンディング立ち上げ準備
12月28日	クラウドファンディング開始
1月19日	富士の国乳業惟村取締役部長による大学での講演とディスカッション

### 2) 販売力の強化方法に関する検討—クラウドファンディング採用に至った経緯

販売力強化方法として、SNSでの発信を考えたが、具体的な成果が確認できるとともに、実際の製品を賞味してもらえる方法として、クラウドファンディングを選んだ。この方法は、単なる製品の宣伝手段を超えて、その製品を生産する「人」の想いも発信できる方法である点も、今回のプロジェクトに最適であると考えた。

クラウドファンディングとは、「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、インターネットを介して不特定多数から少額ずつ資金を調達する方法として、2000年代に米国で生まれ、日本でも2010年代から開始された。クラウドファンディングには、「寄付型」、「購入型」、「融資型」、「株式型」、「ファンド型」、「ふるさと納税型」の6つのタイプが存在しており、当プロジェクトは購入型に該当するが、単なる製品の購入だけではなく、プロジェクトに対する共感による支援という側面も強い。つまり、地元の生乳を使った学校給食牛乳を製造するために酪農家作った乳業会社による乳製品であることから、学校給食牛乳を地産地消で行う点、また近年衰退しつつある都府県酪農の支援という社会的意義を持つ点である。

畜産分野でのクラウドファンディングとしては、「栃木県茂木町の耕作放棄地放牧による黒毛和種生産の応援」[https://motion-gallery.net/projects/motegi\\_wagyu/collectors](https://motion-gallery.net/projects/motegi_wagyu/collectors)、「山地酪農牛乳から作るブランドチーズ「白仙」の生産の応援」<https://camp-fire.jp/projects/317014/activities/200185>、「コロナで余剰在庫を抱える、山地酪農の薫る野牧場の応援」<https://camp-fire.jp/projects/view/293749>、「コロナ在庫を抱える飛騨牛の応援」[https://camp-fire.jp/projects/view/265287?list=key\\_visual\\_main](https://camp-fire.jp/projects/view/265287?list=key_visual_main)、などがある。本プロジェクトは学生が主体となって、地元の酪農・乳業を支援するという面でユニークな取り組みである。

### 3) クラウドファンディングの内容

以下はクラウドファンディングの掲載内容である。

The screenshot shows a crowdfunding campaign for 'MOTION GALLERY' with the title 'コロナに負けない!酪農家で作った富士の国乳業を応援 ~子や孫に美味しい給食牛乳を届けたい~'. The campaign has 44 backers, a goal of 200,600 yen, and 61 days remaining. It features three funding tiers: 500 yen (milk and yogurt), 2200 yen (milk and premium yogurt), and 5000 yen (milk, yogurt, and premium yogurt). The page also includes a video player and a 'このプロジェクトを応援' button.

#### このプロジェクトについて

最高品質の生乳、こだわりの殺菌法で作ったおいしい給食牛乳ですが、コロナ休校で厳しい状況です。就農を目指す静岡県立農専大生が、富士の国乳業の「想い」やおいしさに感動し、応援したいと、クラウドファンディングを立ち上げました。

#### 酪農家で作った牛乳プラント会社

富士の国乳業は、朝霧高原のある富士宮市の酪農家さんが、地域の子どもたちに、自分たちが搾ったおいしい牛乳を、給食で飲んでもらおうと作った会社です。関東生乳品質改善共励会上位受賞の5牧場だけで搾られた、最高品質の牛乳を地元へ届けています。「新鮮上等牛乳を家族で飲もう!」をコンセプトにしています。



具体的には牛乳の殺菌方法を一般的な130度2秒ではなく、80度3分間という殺菌温度にすることで、より生乳に近く安全性の高い、牛乳本来の風味を損なわない美味しい製品を生産しています。牛乳嫌いな子供たちにも、そのおいしさを味わっていただける「こだわり」が製法に現れています。



#### コロナによる影響

富士の国乳業は、学校給食においしい牛乳を提供するために作られた会社です。そのため、夏休みや冬休みは工場の生産がストップし、その経営環境は厳しいものがあります。今年はさらにコロナ禍のため学校が臨時休校になり、さらに厳しい状況に立たされています。

私達は、将来酪農などの分野で就農や就業をめざす静岡県立農林環境専門職大学短期大学部畜産コースの学生です。授業でお世話になった富士の国乳業さんから、今日の状況と生産者の想いについてお話を聞き、深く感銘を受けました。そこで、富士の国乳業の応援をしたいと、クラウドファンディングを立ち上げました。皆さまからのご支援をよろしく、お願いいたします。

## こだわりの乳質と子どもたちへの「想い」

富士の国乳業に生乳を供給している酪農家さんは、すべて「しずおか農水産物認証制度」を取得しています。これは安全・安心な牛乳を子供たちに届けるためのこだわりです。

「将来、地元の子供たちに外に出ても「学校の牛乳はうまかったなー！」と言ってもらえるよう頑張っています」と、生産者のみなさんは真剣に牛乳生産に向き合っています。生産者さんの次世代へ繋ぐその強い想いを牛乳に乗せ、学校牛乳へと送り出していることが分かります。おいしい牛乳を地元で生産し、地域の人々に消費してもらうことで地産地消にも取り組み、地域の活性化にもつなげています。

生産者の一人である、佐々木剛さんは、今年度の農林水産祭で内閣総理大臣賞を受賞した日本でもトップクラスの酪農家さんです。最初の動画は、佐々木牧場での放牧の様子です。春の放牧再開で牛のうれしがる様子がこちらにまで伝わります！

## もっちもっちのヨーグルトとおいしい牛乳をお届け！！

“極上で濃厚なもっちり食感”をうたい文句に、独自の製法で加工したもっちりとした弾力のPREMIUMヨーグルト！！加糖と無糖を選択でき、無糖は小さいお子様にも味わっていただけます！！ヨーグルトには珍しくキャップで開け閉めする包装なので、保存がしやすくなっています。私達農専大生も大絶賛です！！また、牛乳は学校給食に提供している牛乳をお届けします。飲むヨーグルトは清潔で高品質な牛乳を使用して作られているため、後味もすっきりとした出来上がりになっています。

500円の応援コースのお礼状とポストカードは、私達が制作したものをメールでお送りします。

かわいい牛の写真とイラストを届けさせていただきます！！



## リターンはすべて富士の国乳業への支援金となります！！！！

このクラウドファンディングにお支払いいただいたお金は、ファンドの手数料を除き、全て富士の国乳業に支払われ、リターンの代金に使用されます。今回のリターンに使用される乳製品は、富士の国乳業さんのはからいにより、通常価格よりも安くしていただいています。今回このクラウドファンディングで、少しでも富士の国乳業さんについて知っていただきたい、今日の酪農業の現状を知っていただき、少しでも興味をもっていただきたいと思います。

## 想定されるリスクとチャレンジ

このプロジェクトは、公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアムによる「ゼミ学生等 地域貢献推進事業」に採択されています。この事業は、大学と地域の交流の拡大を促進し、大学（学生）が地域の振興に寄与するため、地域と一体となって課題解決を追求するためのものです。私達の活動は、この事業の助成金で運営しています。つまり、ファンドにお寄せいただくお金は、すべて乳業さんにお渡しされ、リターンに使っていただけます。私達がコンソーシアムからいただいている活動費と同じ金額分を、ファンドで集めたいと目標金額を設定しました。ファンドの目標金額に達しなかった場合でも、商品はしっかりお届けさせていただきます。

## プロジェクトスケジュール

2020年12月28日クラウドファンディング実施、3月26日クラウドファンディング終了。

富士の国乳業さんへは、プレゼンターを経ずに直接 Motion Galleryさんから振り込まれます。

製品は、応募が確認された後、富士の国乳業さんから順次発送されます。

## 富士の国乳業さんからのメッセージ

静岡県立農林環境専門職大学短期大学部畜産コースの皆様には、お声をかけて頂き深く感謝申し上げます。

弊社は創業から3年という短い期間ですが、「子供たちに美味しい牛乳を飲んでもらいたい」という思いから夏の暑い中でも、冬の凍えるような寒さの中でも直向きに牛たちを世話する農家さんの姿に感化され、農家さんたちと一緒に走り続けてきました。

思いだけで走り続けてはきましたが、昨今の社会情勢や生活スタイルの変化は深刻な影響となっております。人と人の繋がりが見えにくいこんな時代ですが、弊社は見えにくくなったその繋がりと人の想いを未来の子供たちに繋げていきたいと考えております。

どうぞ皆様からのご支援をよろしく、お願いいたします。

## 全国の酪農を応援して、地産地消を守りたい！！

現在、日本の酪農、特に都府県の酪農は厳しい経営環境の中で農家数が減少し、生乳生産量も減り続けています。朝霧高原は酪農の盛んな地域ですが、同じ問題を抱えています。牛乳・乳製品を味わうことで、地産地消を守り、酪農経営の存続のお手伝いできればと考えています。皆さまからのエールをお待ちしています。

富士の国乳業 (fujinokuni-milk.com)

私たちのインスタとツイッターです。

<https://www.instagram.com/nousendaisei/>

<https://twitter.com/nousendaisei?s=21>

私たちの大学です。



【公式】静岡県立 農林環境専門職大学 農林環境専門職大学短期大学部 (shizuoka-norin-u.ac.jp)

## 4. 研究の成果

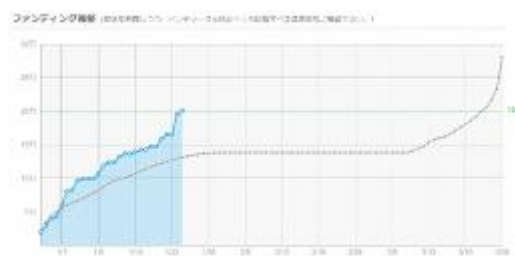
### 1) 当初計画と実際

当初計画通り富士宮市の酪農家、乳業会社、販売店などの交流を踏まえ、年内にクラウドファンディングを開始することができた。開始後もインスタグラム、ツイッター、メール、はがきなどによる広報を行った。

### 2) 実績・成果

Motion Galleryによる目標額到達曲線を大幅に上回り、開始後1カ月足らずの1月25日に目標額に達することができた。これまでに地元静岡県を中心に約5,000人の方の訪問をいただいた。訪問者は

地域	訪問者数
1 静岡	859人
2 神奈川県	520人
3 東京	471人
4 大阪	135人
5 愛知	82人
その他	2,524人



58%が女性で、年齢別には25～34歳が38%、35～44歳が34%、45～54歳が18%、55～64歳が10%だった。

### 3) 今後の改善点や対策

これまで富士宮の地元紙や業界紙などへの露出はあったが、今後は一般紙などに取り上げていただくことで、より広い範囲からの支援が得られるように、メディアへの働きかけなどの工夫をしていきたい。

## 5. 地域への提言

今後も学外実習やプロジェクト研究を通して富士宮の酪農・畜産関係者にはお世話になることから、さらなる大学と地域との連携を強めていきたい。

## 6. 地域からの評価

(富士宮市) 将来、酪農などの分野で就農や就業を目指す学生の皆様が、富士宮市の酪農家による学乳会社の販売力を高めることについて取り組んでいただいたことは、今後の富士宮市の酪農業にとって大きな支援になったため、今後の更なる連携を期待しております。

(富士の国乳業) 今回、静岡県立農林環境専門職大学短大の学生様方により、CFの立ち上げとPR活動等の御助力を賜っております。社会情勢の変化を捉え、企業の課題を理解した上で「人と人と繋がり」を重要点として活動して下さることに感銘を受けました。